

令和元年度 第1回添田町総合教育会議 議事録

日 時：令和元年5月17日 金曜日 午後3時00分～午後5時00分
場 所：添田町役場 3階 議員控室

出席委員：添田町長 寺西 明男

添田町教育委員会 教育長 高瀬 光一

添田町教育委員会 委 員 諫山 哲朗

添田町教育委員会 委 員 花邊 雅子

添田町教育委員会 委 員 古田 浩治

関 係 者：添田町副町長 藤田 季弘

事 務 局：添田町教育委員会 学 校 教 育 課 長 宮崎 一雄

社 会 教 育 課 長 信國 憲文

学校教育課教育指導主事 高瀬 美智也

学校教育課教育環境係長 中山 敏之

学校教育課教育係長 宮本 博美

学校教育課主任 上田 康寛

欠席委員：添田町教育委員会 委 員 崎山 菜穂子

傍 聴 人：1人

議事内容

1 開 会

2 町長あいさつ

- #### 3 議 題
- ①添田町立小学校の明日を考える会の実施報告について
 - ②添田町立小学校の今後の統廃合に向けた取り組みについて
 - ③その他

4 閉 会

【議事詳細】

発言者	内 容
宮崎学校教育課長	お忙しいところ、お集りいただきありがとうございます。 それでは令和元年度第1回添田町総合教育会議を開催いたします。 次第に沿って進めていきたいと思います。 町長あいさつを、寺西町長からお願いいたします。
寺西町長	(町長あいさつ)
宮崎学校教育課長	ありがとうございました。それでは早速、議事に入りたいと思います。 進行につきましては、設置要綱第4条の規定により町長が議長になるという事になっておりますので、これから先の議事をよろしくお願いいたします。
寺西町長	それでは、座って進めさせていただきます。まず、本題に入ります前に、これは言うまでもないことと思いますが、総合教育会議は、教育委員会が十分な意思疎通を図り地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、町長部局と協議を行う場として設置されたものです。今回の会議でございますが、教育委員会がその権限に属する事務に関しまして協議する必要があるということから、具体的な事項としましては、29年度に策定しました、小学校統合基本計画案につきまして住民の皆さんに理解を求める過程において、首長と教育委員会で再度意思疎通を図る必要が生じたということから添田町立小学校5校の統合の基本計画案の改善等について提案したい旨の召集要請があったことから開催したものでございます。今回もしっかり皆さん方と協議しまして、前年度からの基本計画案を早急に作り、具体的実施に移ればというふうに私自身思っておりますが、先ほど申しましたように協議をよろしくお願いします。 それではお手元にあります議題、①、②、③とあります。まず、①の添田町立小学校の明日を考える会の実施報告について事務局から説明をお願いします。
中山教育環境係長	(①添田町立小学校明日を考える会の実施報告の説明)
寺西町長	はい。ありがとうございました。ただいま報告がありましたが、何かこれに関しまして質問なりご意見なりございませんでしょうか。 どういうことでも結構ですが、ございませんか。 ひとつ私から、それぞれの会議の状況というのは、ホームページなどに載せているのですか。

中山教育環境係 長	出された意見につきましては、まとめたうえでホームページに掲載しています。
寺西町長	ほかにございませんか。 次の報告の中で関連がありますので、何かありましたらお願いします。 次に進めさせていただきます。 ②添田町立小学校の今後の統廃合に向けた取り組みについて、説明をお願いします。
宮崎学校教育課 長	(②添田町立小学校の今後の統廃合に向けた取り組みについて説明)
寺西町長	はい、ありがとうございます。この点に関しまして何か質問なりございませんでしょうか。 私から一つ、前回教育会議で決めて町で出した基本計画は白紙、撤回してこういう案で進んではどうかと言う提案の形と言うことでいいのですか。前回では、期日だけ撤回しますと話してきていましたけど、全部撤回してこのような形で再度提案と言うか住民の皆さんに示すということでもいいですか。
宮崎学校教育課 長	はい。
中山教育環境係 長	もともと統合すると言う案はくずしておりませんが、統合するかしないかを早急に語るのではなくて、もっといろんな意見を聞いたうえで判断しようと言うことがございまして、明日を考える会では私たちが気づかなかった色々な案が出ました。それを踏まえまして、頭を柔軟にした中でもう一度検討しようと言うことで、検討した結果の案がこれと言うことになったところです。
寺西町長	要するに、前回の基本計画はありませんよと、結果として5校を1校と言う最初の分はありますけど、統合と言う分を考えずに再度検討した結果が、「苦渋の」の意味がよくわかりませんが、この案ということですね。ほかになにかありませんか。
諫山委員	私は津野の会場にいきましたが、報告書をみると他の会場とも同じような意見が出ていたようですが、言葉は同じでも考え方や立場が多少違うように思いました。 それと明日を考える会で皆さんに意見を出していただいて、その意見を反映したところで統合を決めたんだということを、皆さんにわかりやすい形で説明しないといけないと思います。 今日の報告を聞いて、こういう流れの中でこういう説明であれば理解していただけるのではないかと思います。

寺西町長	私も前回の分はどうしたのかといったのは、今言ったような、考える会の結果をどう今回の案に取り入れたというか、リンクさせたのかということ知りたかったので、そこのところを確認したわけです。 資料をざっと見させてもらって、苦渋の選択をした5校を1校にした中で、いろいろ書いているのですが、町の教育施策がある中でそれとどうリンクするのか、そこのところをしっかり示す必要があるのではないかと。これからの進め方もあるでしょうし。 10ページに中学校は現地建替え又は改修、小学校は5校を1校にとあり、その下に義務教育学校、小中連携のいずれとしています、どちらが先とかいうことではないわけですね。義務教育学校、小中連携のいずれも検討して行きますよということ。
中山教育環境係長	まず基本構想を作成して、保護者のみなさん、住民の皆さんに説明して、理解を得られたら、最終的には議会に上程したいということです。基本構想の目玉は、大きくは、中学校は建替え又は改修を早急にやりたい、小学校は5校を1校に統合したいという2点です。それを踏まえ基本構想の中身は、教育方針の骨子、総論的な物と、場所は町有地で検討するということ、義務教育学校と小中連携を検討したいという内容を基本構想の中に示したいと考えています。 保護者の皆さん、地域の皆さん、議会からの理解を得られれば、次に総論から各論になる基本計画を保護者の皆さん、地域の皆さんと考えて行きたいという内容です。
寺西町長	中学校は早期に建替えなりをしたとして、義務教育学校にした方がいいのではないかなった場合は、財政的な観点から町としてはそれがいいのですが、今後過疎債がつくかどうかはわかりませんが、義務教育学校を先に出すというのはどうなのでしょう。
高瀬教育長	建物的に考えた場合、一体にあることが手っ取り早いのですが、小中別々の場所にある義務教育学校もあります。ですので、まず中学校の建て替えを急いだ方がいいだろうとの考え方で、その後今の添田小か今の中学校の下に新たな小学校をとということも考えられます。
寺西町長	補助金的には、まず義務教育学校をきめないと補助金がつかないのではないですか。
上田主任	一旦解体をして新たに中学校を立てるとなると、町長のおっしゃるとおり義務教育学校にするのかどうかということで補助金がつくつかないの問題があらうと思います。現地の改修であれば長寿命化改修という形で補助や交付税制度もあります。
寺西町長	どのくらいあるのですか。

上田主任	長寿命化改良ですと補助率は 1/3 で、地方債に対して交付税として措置されるものが約 40% ですので、実質 73.3% 補助がつきます。ですので 26.7% が町の負担となります。長寿命化改良は現地でのリフォームのようなものでして、新築のようにきれいになります、現地の基礎とか使える物は使ってやるものです。
寺西町長	義務教育学校にするしないに関わらず、建替えではなく中学校は改修をやるということですか。義務教育学校にすることのタイムラグはどうなりますか。
高瀬指導主事	建替え改修の件と義務教育学校の話と一緒にすると、聞く方も混乱するのかなと感じました。まず、学校をきれいにしたうえで、その後に町長のおっしゃった義務教育学校の話になるのだと思います。いずれにしても補助金が出るやり方の方が町としてはいいという話をしているのだと思います。
寺西町長	現地建替え又は改修となると・・・イメージ的な発言にはなりますが、現地改修はないのかなと思ったりしますが。中学校も新築でイメージしていましたから。 小中連携であれば今の中学校の近くでなくても小学校があればいいと言うことになるわけですね。
高瀬教育長	できれば近くにあった方がいいと思います。
寺西町長	中学校は切り離して考えることはわからなくはありませんが。
上田主任	補足ですが、長寿命化改修は、従来 40 年程度で改築していたものが、国も財政的に苦しいですので、80 年 100 年使える学校にしようという制度であります。
寺西町長	いくらかかりますか。
上田主任	一般的に新築の 6 割と言われています。工事内容で変わってくると思いますが。
宮崎課長	現実的には、改修か建替えかは、これから調査をして、耐力度調査や、耐震改修していますが今後 40 年持つのか、その辺をはっきりさせないことにはいずれもできないところです。用地もそうです。
寺西町長	苦渋の選択をした理由は 8 ページのとおりですか。細かい話かもしれませんが、ある程度の児童数とはどう考えていますか。15 人くらいですか。
高瀬教育長	25 人から 30 人の間を想定しています。
寺西町長	人数規模は一つのポイント、鍵になるのかなと。統合した場合のデメリット、いろんな話を聞けば学力は少人数の方がいいと。少人数学級をやれば小規模校のメリットをこちらでもできると、もちろんそうすると

	財政的な面もできますが、補助金をもらう建て方をしてその分をそちらに充てるという考え方もあるのかなと。
高瀬教育長	少人数学級は可能です。ただし、配置される教員数には基準がありますので、基準を超えた教員は、県は配置しませんが、町で配置し2クラスを3クラスにすることはできます。
寺西町長	今回ファシリテーターをお願いして、最後のまとめは非常に参考になりますが、43ページにある「デメリットに対するフォロー」とありますが何か考えていますか。
中山教育環境係長	具体的なものはここではありません。ただ、課長の説明にありましたが、通学の問題だったり少人数学習のことであったり、それに伴う地域の衰退だったり、そういったことについて今後しっかり考えて行きたいとしか言えないのですが、具体的な方策については、住民の皆さんと検討して行きたいと考えている基本計画の中で示しながら皆さんと話し合いながら策を考えて行きたいと考えていました。
寺西町長	そうすると基本的な考え方は、これからは住民の意見を取り入れますよということですか。
中山教育環境係長	そう考えています。
寺西町長	どうも中学校の現地建替え・改修にひっかかるのですが・・・個人としては別の所に建替えがいいと思っていますが。中学校は別に考えるという話も分かりますが、財政的な面からも義務教育学校で示したいなどの思いはあります。どうでしょうか。教育委員会でいろいろ意見が出たのかもわかりませんが。 12月議会上程と言うことですが、これに関わるスケジュールはどうなっていますか。
宮崎課長	本日の会議で方向性についてご理解いただき、今後は住民説明会を実施、そしてその結果を受け、もう一度総合教育会議を開いて確認をさせていただいた上で、教育委員会で方針の決定、場合によりパブリックコメントを行い、12月議会に向けて進めて行きたいと考えています。
寺西町長	期間的に間に合いますか。たしかに早くしないと、と言うことはあるのだと思いますが。
藤田副町長	早期に中学校を建替えることはわかりますが、今の中学の配置を見ると、高低差があって、改修とした場合、学校として機能するのかなーと。より教育効果を持たせようとしたら位置というか、校舎全体の配置的にはどうかなーと思います。
宮崎課長	どういったレイアウトが出来るのか今のまま高低差の激しい状況で改

	修したとしたら配置は変わりませんので、コンサルなどと相談しながら早期に方向性を定めたいと考えています。
寺西町長	明日を考える会では中学校の話は出ていないのですか。聞かなくていいですか。聞くことを基本にしているのなら。
中山教育環境係長	明日を考える会では聞いてはいないですが、今後の住民説明会では小中合わせた話をさせていただきたいと思っています。
諫山委員	その件についてもこの間、委員会でも話をしましたが、中学校は早期に建替え又は改修、小学校は統合するということですが、この2つのことは並行していかないと先に進まないと思います。
寺西町長	中学校は現地建替え又は改修しかないのですか。財政的なことを考えてのことと思いますが。新築の考え方はないのですか。補助金を使わないということもありますが、将来を考えれば、今高低差とかの話も出ましたが、どうでしょうか。いくらかかるのですか。
上田主任	中学校新築の場合、23億程度です。用地の関係で、用地買収となれば用地交渉で時間を要することが想定されますし、小中一貫で最低3万㎡必要だろうと考えていましたので、まとまった場所がなかなかないというところがあります。
寺西町長	新築は財政面だけでそう判断しているのですか。
高瀬教育長	場所の選定の見通しが立たないところもあります。
寺西町長	現地の場合、将来子ども達にとっていいのか。きれいになればいいのかそこが気になります。が、財政事情なのでしょうね。 そうなるとその後、義務教育学校の選択肢はなくなるのですか。
上田主任	できます。
寺西町長	小学校の分は補助金がつくのでしょうか。
上田主任	はい。
寺西町長	そのときに義務教育学校にするメリットはあると。財政の話ばかりしていますが。
諫山委員	小学校中学校が離れていても義務教育学校は可能ですか。
高瀬教育長	そうです。一体型とか分離型とかあります。
寺西町長	ただし校長先生が1人になりますし、離れているので。
高瀬教育長	別々の学校より教員が増えることはないと思います。
高瀬指導主事	理想的としては、今の校舎で学習しながら新校舎が建てばそこに移れますが、長寿命化改修であれば仮校舎を建ててと言うことに、1、2年待たないといけなくなります。
寺西町長	中学校は現地とした場合、反応はどうでしょうか。いや財政的に無理

	ですよと言った話をするかどうか。私は、それはどうかと思いますが、根拠がない。私が23億出せと言っても今の財政はどうでしょうかね。私が決めると言っても出せないでしょうね。
高瀬教育長	用地の問題で、4階建て5階建てにすれば、との話も出ました。そうすれば小中とも新しくなりますし。義務教育学校でなくても補助金がありますし。それも考えましたが中学校の建替えを早くした方がいいと。
寺西町長	中学校の話ばかりになっていますが、小学校の方も意見があれば。統合する方がなぜ苦渋なのですか。将来的なことを考え、将来の教育目標にもっていくためには統合が必要だ、とかの話はないのですか。 今回4つの案が出ていますが、それぞれはどうかとか、どう検討したのですか。検討せずに基本的な考え方、これからこういう風にやっていくべきではないか、人数は必要ではないか、将来的に少なくなるからとか、そうすると5校を1校にすると結論なのか、それぞれの長短がある中で検討した結果、5校を1校にするということで苦渋のかなとイメージしていました。
高瀬教育長	5校を1校にと言う当初提案した案については、教育委員さんと児童推移を含め議論したうえで提案しましたが、その中に分校とか小規模校を1校残すとか、無いわけではないですが、もうこの時期では1校で行かざるを得ないのではないかなという思いが多少強かった。明日を考える会をしていく中で、小規模校の良さを認めるのであれば、生かして行く方法はないかということもたくさん意見をいただきました。小規模校を1校残すと言うのは、そういう教育もできなくはないかなと1年かけて議論しました。それで、最終的に1年経って整理をする時、やはりもう、何年か先には実質、学校として成立しないようになるのではと考えた時には、やはりその可能性があったとしても5校を1校にせざるを得ないだろうと、最終的に整理したうえでの教育委員会としての考え方となりました。
寺西町長	児童は全学校少なくなるのですか。15人くらい残るとありましたが。
高瀬教育長	(今後6年間の就学予定児童数を提示) 中元寺32人、落合17人、津野9人、真木67人、添田204人です。
寺西町長	それであれば苦渋の選択はしなくていいのでは。
高瀬教育長	場合によっては1人しかいない学年が出てきます。
寺西町長	その人数は学校全体での人数なのですね。そうすると1校にしないといけないと言う話になるのですね。将来もみて。 なにかございませんでしょうか。

	前回の基本計画はどういうふうになるのですか。今回は新たな基本構想、基本計画を作って行きますと言う形ですね。再度確認しますが、基本構想は、中学校は現地建替え又は改修、小学校は5校を1校に統合、が基本構想になるのですか。
高瀬教育長	中学校が引っ掛かるかもわかりませんが基本はそれでいいです。
寺西町長	現地建替えで補助金があるのですか。
上田主任	ありません。
寺西町長	ではここでの案は、大規模改修と言うことになるのですか。
高瀬教育長	そう考えていいです。
寺西町長	10ページの中段の記載分はどこでどう検討するのですか。小学校は5校を1校に統合とあり、小学校は建替え又は添小の改修とありますが、これはどういう意味ですか。
上田主任	小学校は、新築により建替えをするか、添田小学校を改修するかという意味です。
諫山委員	小学校は建替えでいいのではないのでしょうか。
高瀬指導主事	場所が決まっていないからそういう論議になるのです。
寺西町長	添小などと表記せず、場所は町有地の表記だけでいいのではないのでしょうか。事例を上げると混乱するのではないのでしょうか。基本構想に入れるのか今後決めるのか。
高瀬教育長	どっちでするかもう一回はっきりしないといけませんね。
宮崎学校教育課課長	そのように紛らわしいようなことがあれば今後基本構想を作成する中でもう少し整理して行きたいと思います。
寺西町長	基本計画はかなり期間がかかりそうですね。 10ページに基本構想、基本計画とあり、11ページに基本計画とありますが、どう検討するのですか。少しわかりづらいのですが。
高瀬教育長	10ページは基本構想の中身だと思ってもらえるとよろしいかと思います。
寺西町長	かなりタイトなスケジュールと思いますが。教育会議なり私なりが決めてしまえば12月でもその前でも提案できるのですが。 10ページの内容を構想で示し、それを住民の皆さんに説明しますよと。そして説明の中でいろいろあれば調整しながら、次は基本計画に移りますと、そういうことですね。
高瀬教育長	はい。
寺西町長	予算的な検討はしないといけなそうですね。 29年度の説明会で示すことが出来なかった部分がありましたが、今回は具体的なものは基本計画でやりますよと言う話をするのですか。

高瀬教育長	基本そういう形になると思います。
寺西町長	では、基本構想をもう一回しっかり、具体的に作ってもらって再度検討するということでどうでしょうか。
高瀬教育長	はい。
寺西町長	財政的なものを含めて協議検討してもらって。2, 3 案比較できるものを出してもらって。 ということでどうでしょうか。この会議では、中学校は早期に何らかの対応をする、小学校は5校を1校に統合する、ということを基本構想に示す、その他教育方針の骨子とかそういうものも含めて基本構想にすると。どんな基本構想になるのでしょうかね。 ということで今日の会議はよろしいでしょうか。 保護者や住民に説明を行える基本構想として具体的に案を作成する。それをもう一度ここで協議する。ということでよろしゅうございますか。(はい)
諫山委員	11ページの基本計画は保護者の皆さんなどと一緒に考えて行く、意見を出してもらって決めて行くということですか。
高瀬教育長	こちらから提案するのもあれば、いろんな意見をいただいて判断して行く部分があると思います。
諫山委員	跡地の活用とありますが、教育委員会の管轄から外れるのではないのでしょうか。地域コミュニティの根幹ですから、基本計画にぼんとあげるのはいかがでしょうか。行政のまちづくりも関わらないといろいろ問題が出てくると思います。
寺西町長	そのとおり大きな要素だと思います。しかし教育委員会から完全にわけてしまうと難しい話になって行くんだろーと思います。
高瀬教育長	基本計画については、実際にはいっぺんに全部できるものではなくて、分科会や専門部会的にわかれて論議することになると思います。
高瀬指導主事	基本構想が決まらなないと動けない部分だと思います。
寺西町長	構想の中でやれる具体的なものを、数値的なものも含めて、やはり必要かなと思います。基本構想に含めなくても説明する際は必要だと思います。 というところでよろしいでしょうか。(はい) では本日の議題①、②は終わります。③その他ですが何かありますか？(なし) 保護者の皆さん、地域の皆さんに説明できるような基本構想を早急に作っていただいて説明の前にもう一度協議することでいいでしょうか。(はい)

	それでは、以上で議事を終わります。
宮崎学校教育課 長	以上で本日の総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。